

UL94規格：プラスチック材料と装置等の燃焼性試験で、材料の燃えにくさの度合いを表す規格

UL94	難燃性		試験方法	垂直に保持した試料の下端に 10秒間ガスバーナーの炎を接炎させる。 燃焼が 30秒以内に止まったならば、さらに 10秒間接炎させる。		
			判定基準			
	高い ↑	V-0	いずれの接炎の後も、10秒以上燃焼を続ける試料がない。 5個の試料に対する 10回の接炎に対する総燃焼時間が 50秒を超えない。 固定用クランプの位置まで燃焼する試料がない。 燃焼する粒子を落下させる試料がなく、下方に置かれた脱脂綿は、発火しない。 2回目の接炎の後、30秒以上赤熱を続ける試料がない。			
			V-1	いずれの接炎の後も、30秒以上燃焼を続ける試料がない。 5個の試料に対する 10回の接炎に対する総燃焼時間が 250秒を超えない。 固定用クランプの位置まで燃焼する試料がない。 燃焼する粒子を落下させる試料がなく、下方に置かれた脱脂綿は、発火しない。 2回目の接炎の後、60秒以上赤熱を続ける試料がない。		
				V-2	いずれの接炎の後も、30秒以上燃焼を続ける試料がない。 5個の試料に対する 10回の接炎に対する総燃焼時間が 250秒を超えない。 固定用クランプの位置まで燃焼する試料がない。 燃焼する粒子の落下があり、下方に置かれた脱脂綿を発火させる。 2回目の接炎の後、60秒以上赤熱を続ける試料がない。	
	遅燃性		試験方法	試料を片端で固定して水平に保持し、その自由な端に 30秒間ガスバーナーの炎を接炎させる。 炎を離れた後に試料が燃焼を続けたならば、その燃焼の速度を測定する。		
判定基準						
低い ↓	HB	厚さが 3.05mm 以上の試料については 燃焼速度が毎分 38.1mm を超えない。 厚さが 3.05mm 以内の試料については 燃焼速度が毎分 76.2mm を超えない、 あるいは炎が試料の端から 102mm の点に達する前に燃焼が止まる。 ※94 HBには自己消火性はない				

※ULとは、米国の“UNDERWRITERS・LABORATORIES・INC”という法人の頭文字UとLを取ったものです。



〈お問合せ先〉

エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社

〒111-0053

東京都台東区浅草橋3-20-15 浅草橋ミハマビル4F

TEL 03-5820-7021 FAX 03-5820-7027

E-mail: fit@fitpacific.com URL: http://www.fitpacific.com